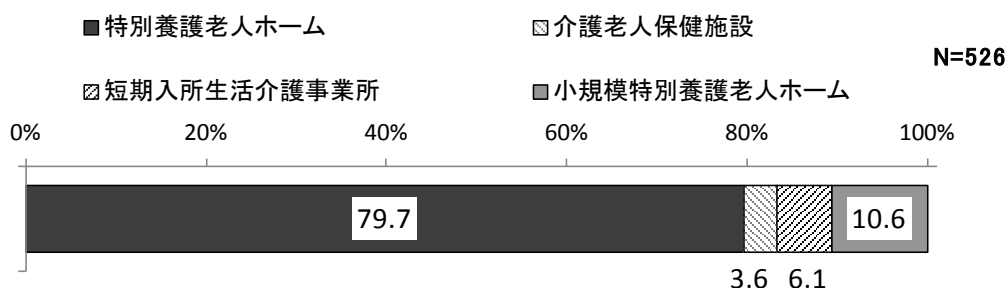


平成26年度 事業報告書

1. ユニットケア施設管理者研修

受講者像

<施設種別>

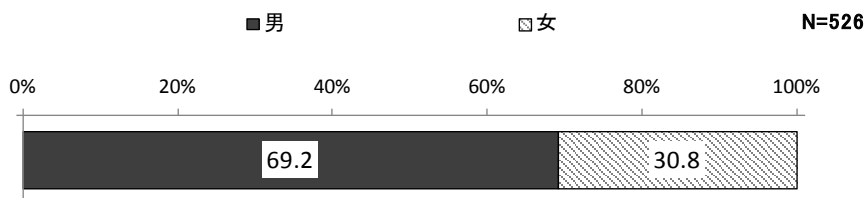


<施設種別 管理者のリーダー研修受講数>

施設種別	管理者研修		
	受講者数(人)	リーダー研修 受講者数(人)	リーダー研修 受講率(%)
特別養護老人ホーム	419	51	12.2
介護老人保健施設	19	2	10.5
短期入所生活介護事業所	32	6	18.8
小規模特別養護老人ホーム	56	3	5.4

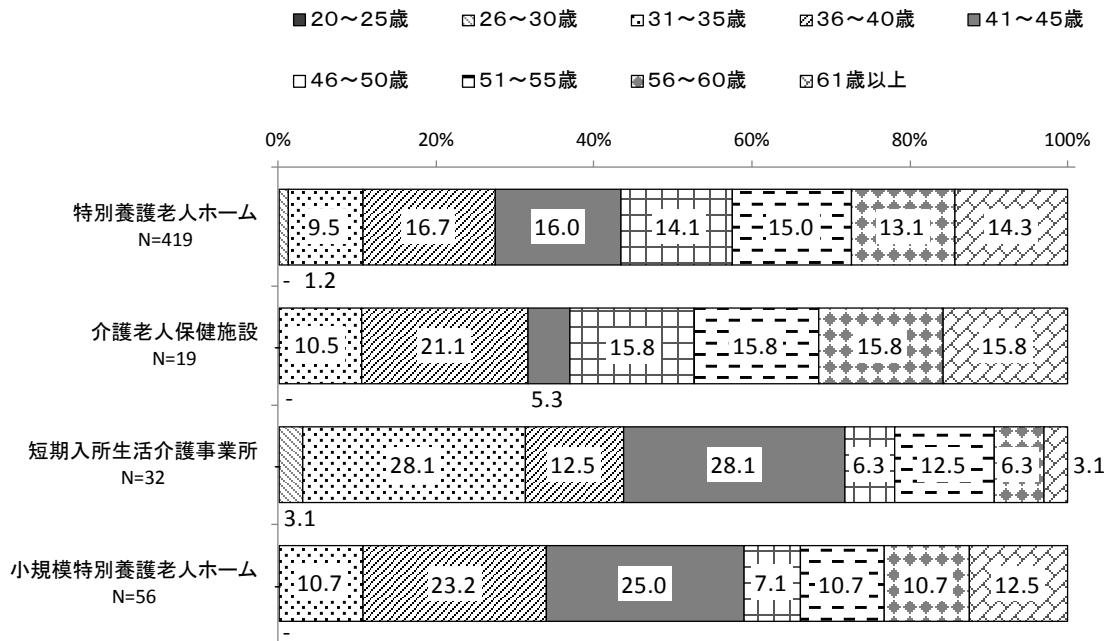
- ・近年は、小規模施設からの管理者の参加が増加してきている。その中で、リーダー研修を受講しユニットケアの実践経験より、管理者に抜擢され参加してきている人が増えてきた。施設種別の比率としては、小規模施設の管理者が多いことが上記よりわかる。研修中では、これらの管理者から聞かれる運営の実態は、本体施設等に総合の管理者がいるため、「人事権・決裁権がない」プレイングマネージャー的存在が多いようである。

<性別>



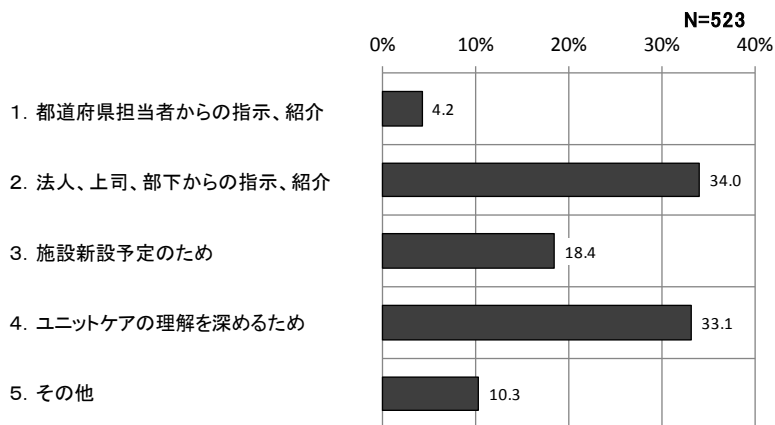
- ・男女比には、大きな変化は見られなかった。

<年齢（施設種別）>



・施設種別毎に年齢層を示した。小規模施設の管理者は、41～45歳を中心に若い人が多く、特に短期生活介護では、30代の管理者が4割を占めていた。特別養護老人ホームでは、各年齢層は平均していた。

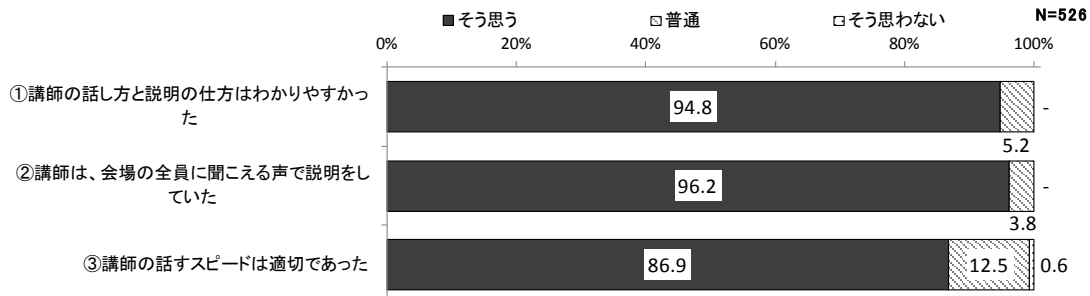
<受講動機>



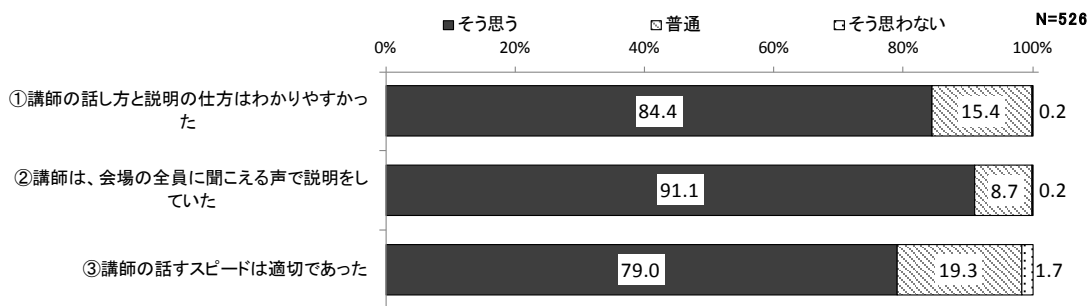
・受講動機は、指示型「法人・理事長・行政からの指示」が多い。しかし、この頃では、リーダー研修受講生の定着から、受講生と同じ見解を持つために参加する人も出てきた。自ら学ぶ意思のある人も増えてきたが、まだまだ指示型が多いのが現状である。

受講者評価

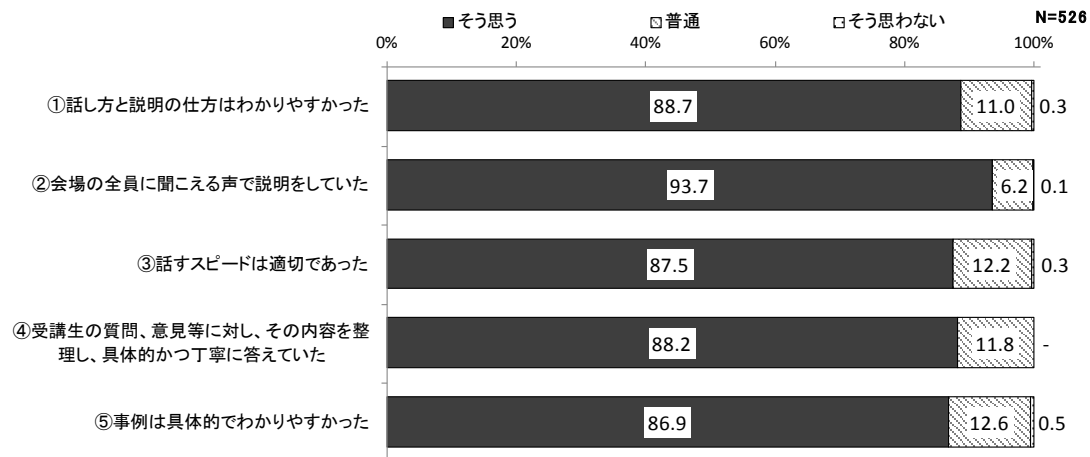
< 1日目 ユニットケアの理念と意義 >



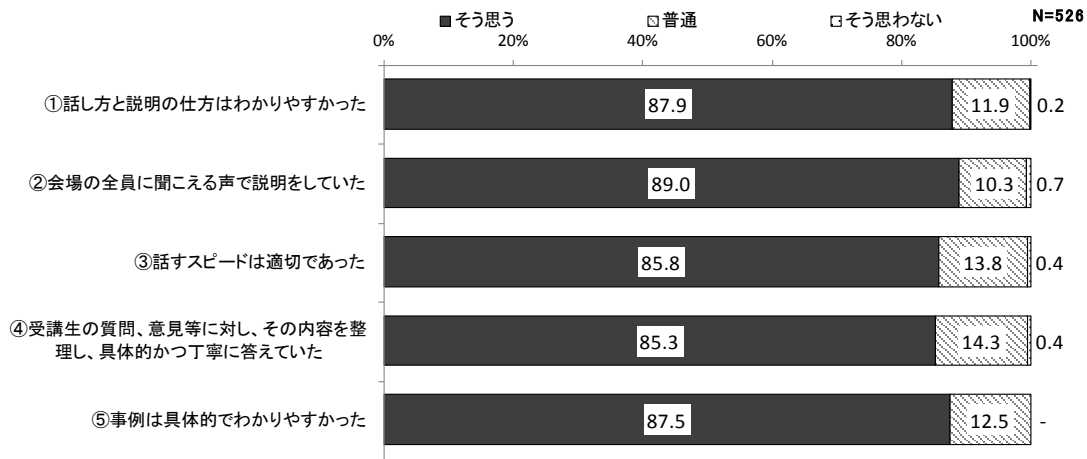
< 1日目 高齢者の生活とその環境 >



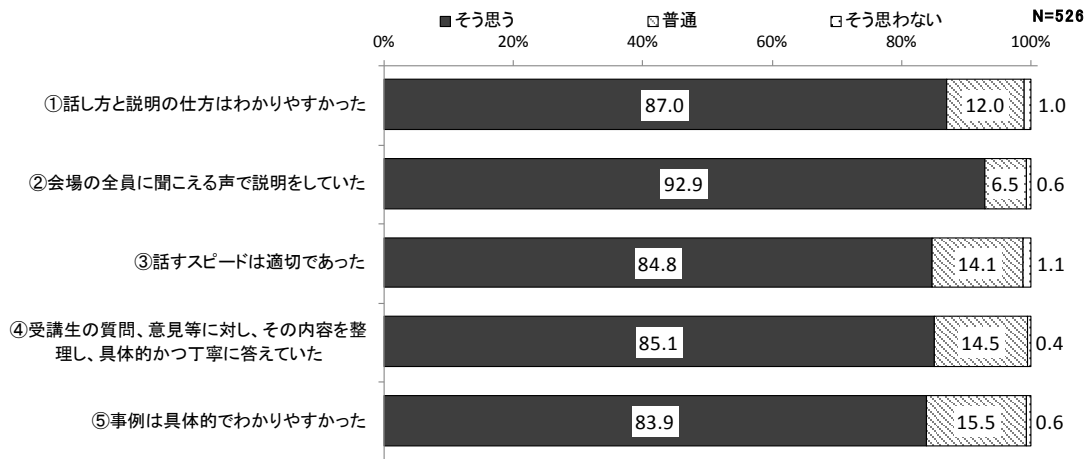
< 2日目 コーディネーター >



< 2日目 講師 >



< 3日目 コーディネーター >



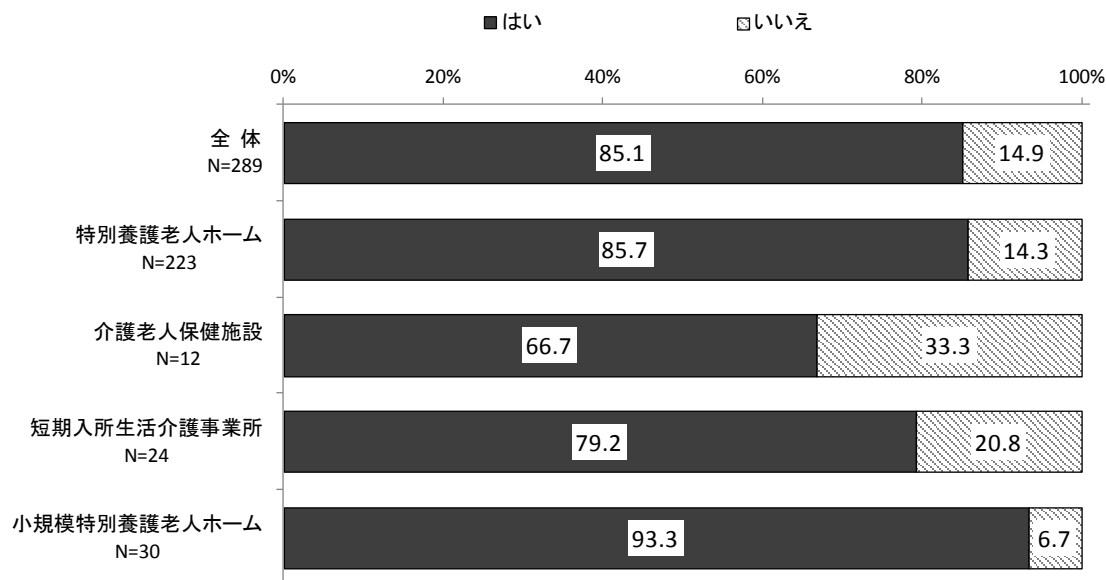
- どのセッションも9割以上の満足度を得ている。データには示していないが、管理者研修の指導者養成研修より、新指導者が誕生しており、それぞれに対してのデータは平均して満足度は高いものの、各指導者の得意・不得意分野においては、はっきり評価に差が現れた。次年度に向け、改善の必要がある。

受講者施設の運営状況（事前課題・研修時アンケート分析結果）

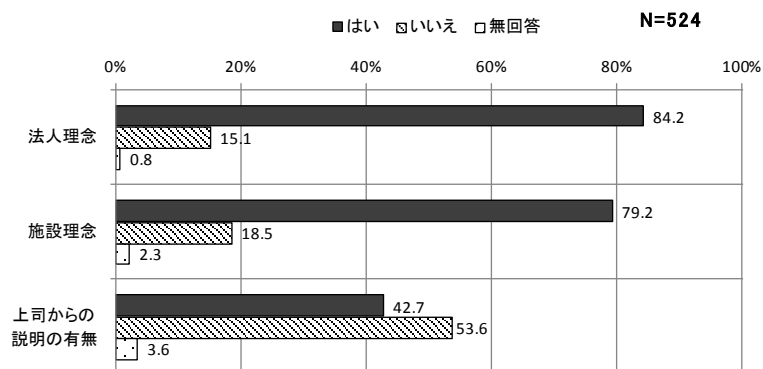
ユニットケアの運営基準について

ユニット型特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準・第三十三条を知っていましたか。

<第三十三条の認知度（ユニット開設済みのみ）>



自法人・施設の理念の把握をしていますか？（研修時アンケート）

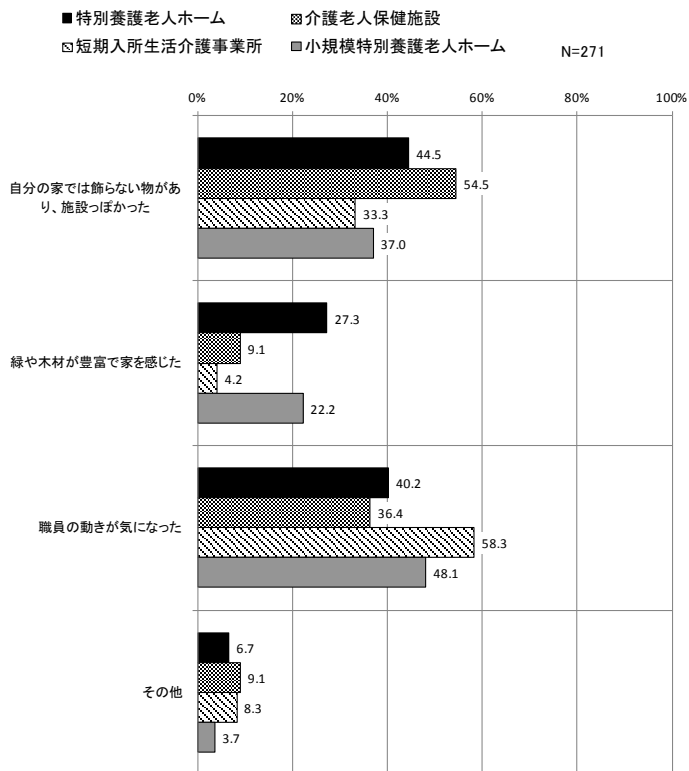


・ユニット型施設の運営基準となる第三十三条の理解度については、平均 85.1%であり、おおむね理解が進んでいる。それを施設種別で比較すると、小規模施設が一番である。その要因は、リーダー研修受講済み者が管理者となり、研修時に学び理解していることが考えられる。その逆として、介護老人保健施設の理解度の低さがあげられる。

車いす体験を通して感じたことについて

体験したこと（五感で感じるもの）とのギャップはどの程度感じましたか。

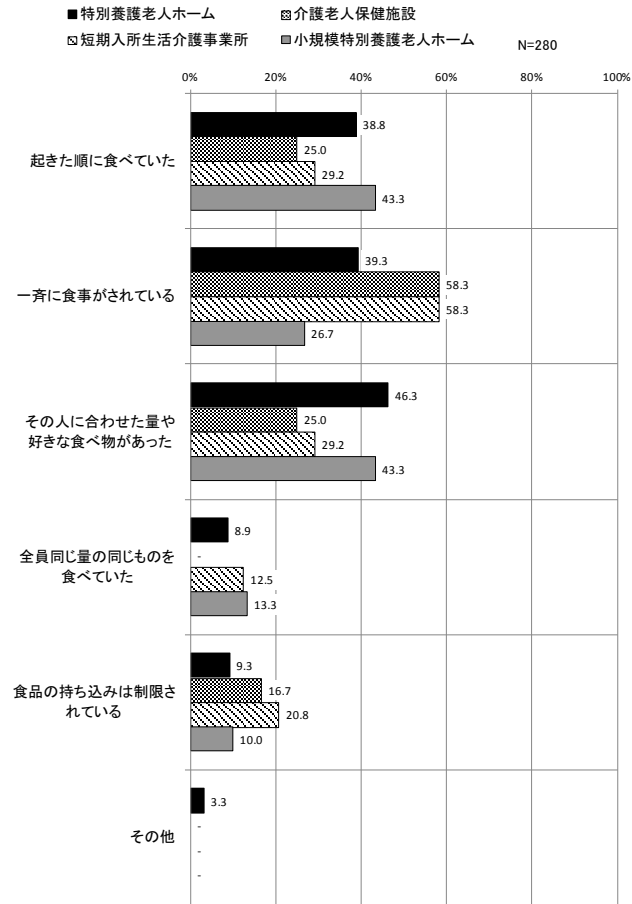
<見たもの（ユニット開設済みのみ）>



- ・「施設っぽいしつらえ」については、介護老人保健施設が多く、反対に「緑や木材の使用が多い」と答えたのは、特別養護老人ホームと小規模特別養護老人ホームであった。「職員の動きが気になった」のは、短期入所生活介護と小規模特別養護老人ホームであり、本来ならば小規模の施設での緩やかな運営が期待される場所であるが、反対の数字が出た。

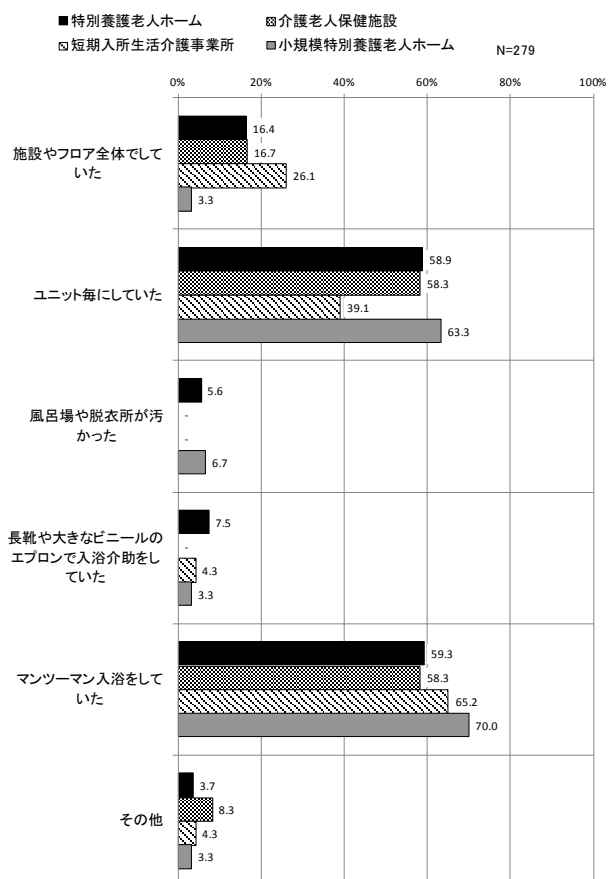
体験したこと（生活行為）とのギャップはどの程度感じましたか。

<朝食（ギャップの程度別）>



- 「その人に合わせて」は特別養護老人ホームと小規模特別養護老人ホームで過半数であったが、介護老人保健施設と小規模入所生活介護では、「一斉」が6割近くあった。

<入浴（ギャップの程度別）>

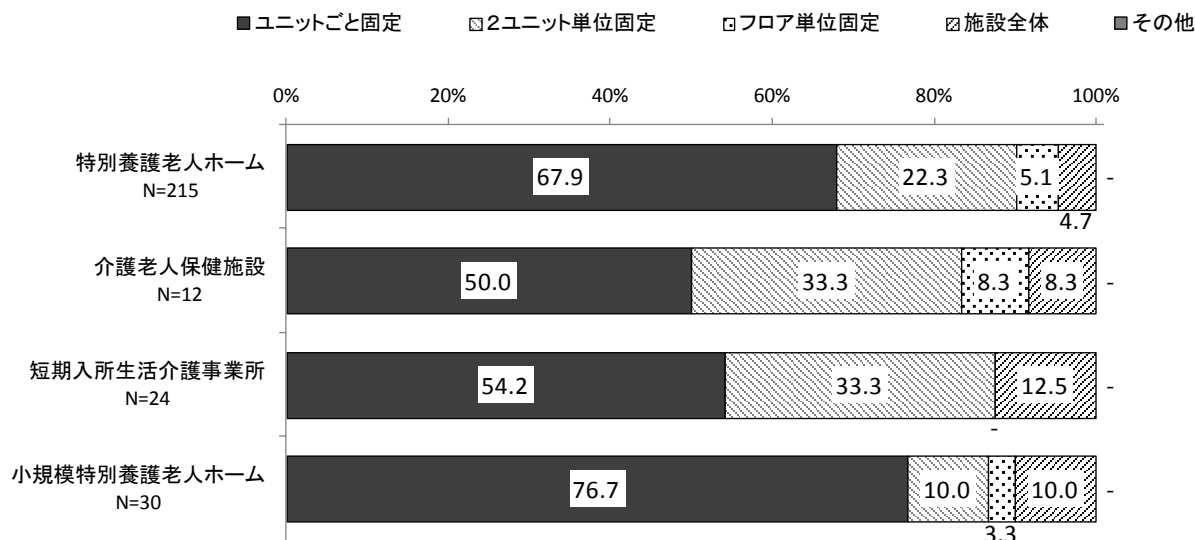


- ・「マンツーマン入浴」は、6割以上で実地されていた。「ユニット毎の入浴」も6割近くになっており、浸透度が高いことがわかる。

ユニットケアの運営状況について

介護職員のユニットの配置状況はどのようになっていますか。

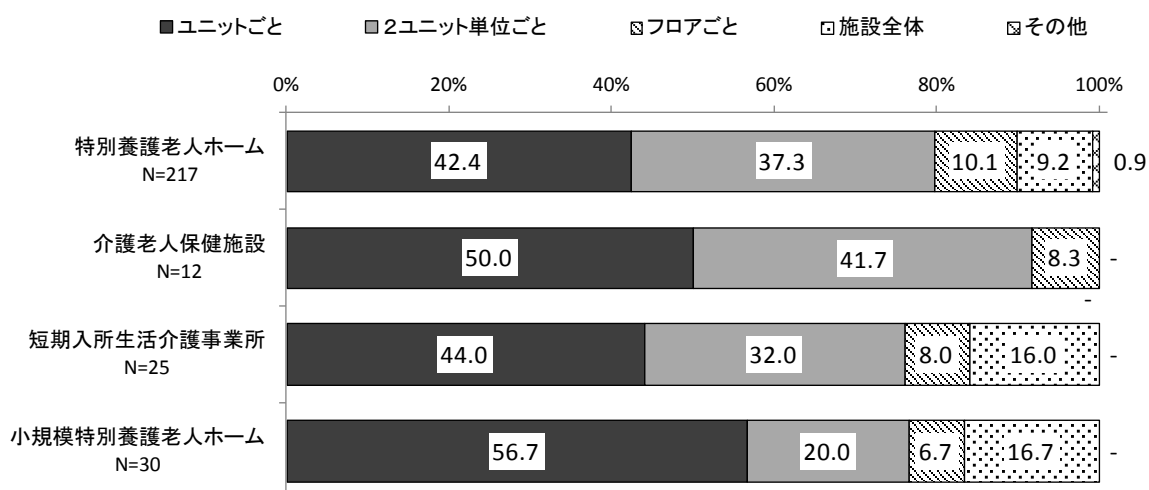
<介護職員のユニットの配置状況（ユニット開設済のみ）>



- ・ユニット固定については、小規模特別養護老人ホームで77%、特別養護老人ホーム68%と理論を学ぶ受講前であるにもかかわらず、高い数字を示し、本来のユニット型施設の持つ役割の理解は進んできている。しかし、短期入所生活介護では、39%と低い。研修中に聞かれる運営実態としては、利用率が上がらないため固定できないとのことである。

介護職員の勤務シフトの作成体制はどのようになっていますか。

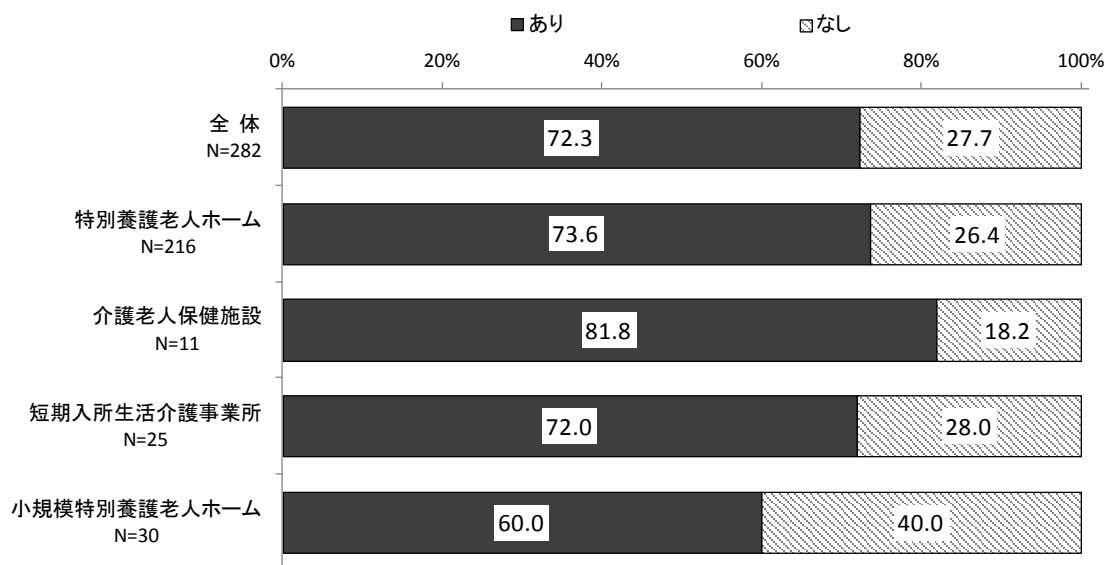
<介護職員の勤務シフトの作成体制（ユニット開設済のみ）>



- ・勤務シフトの作成単位は、2ユニット1夜勤の関係性より、2ユニットで作成する傾向がでている。ユニット毎の固定配置が出来ていても夜勤の関係で2ユニットの作成単位になっていることは、残念である。その作成方法については、研修で伝えているので、研修後は改善がみられると思う。

ユニットリーダーに手当はありますか。

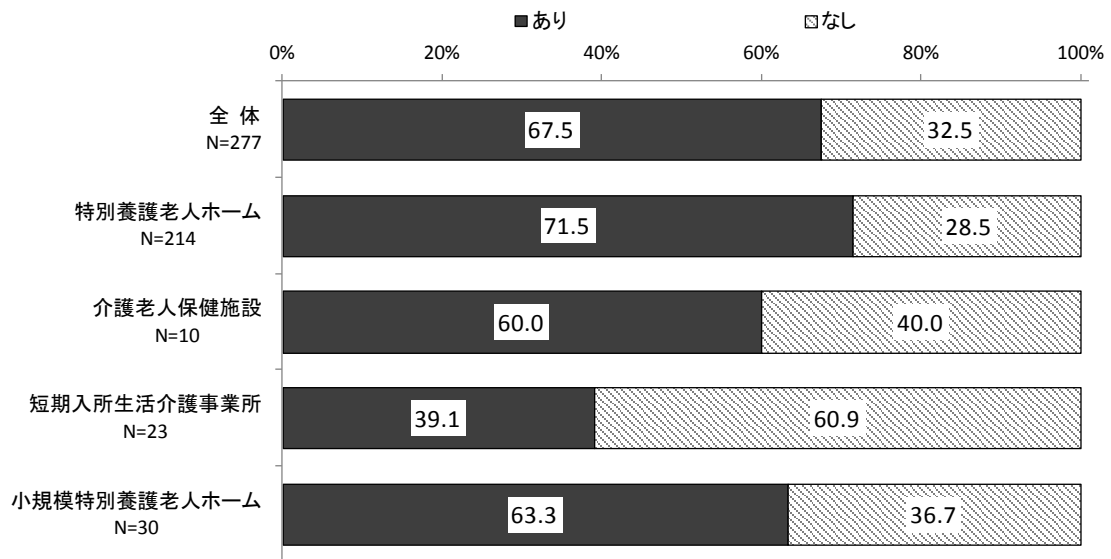
<手当の有無（ユニット開設済のみ）>



- ・ユニットリーダーの位置づけは、役職としている施設は全体の1割強で、施設種別の差は見られなかった。しかし、3割弱でリーダー手当を出しておらず、昨年よりその数は微増しており、改善が進まない状況を示している。

ユニット費はありますか。

<ユニット費の有無（ユニット開設済のみ）>

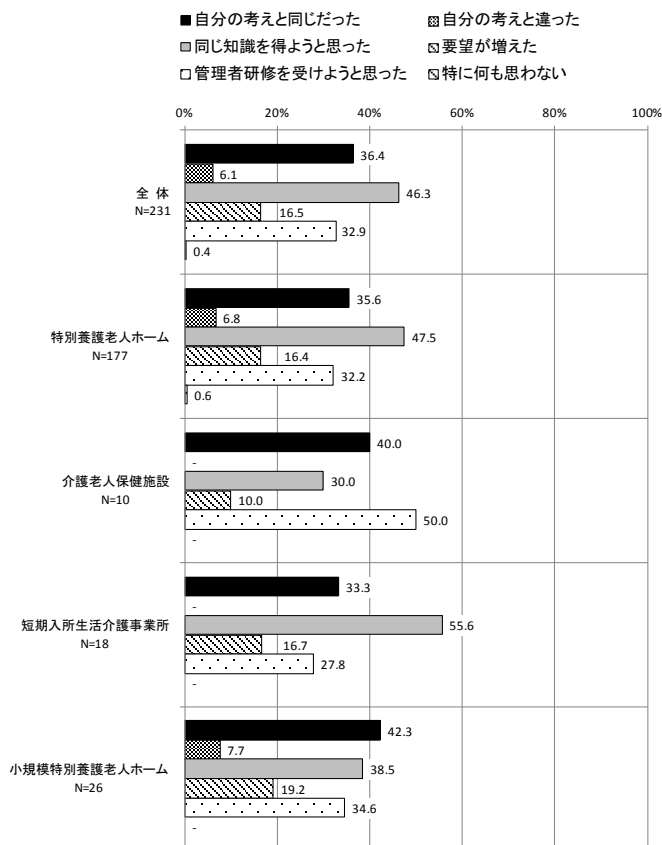


- ・ユニット費は6～7割で支給されているが、まだ少ない状況である。特に短期入所生活介護では、4割弱の支給であった。

報告を受けてどのように思いましたか。

（「研修の内容」などについての報告を受けた方のみ）

<報告を受けて思ったこと（ユニット開設済のみ）>



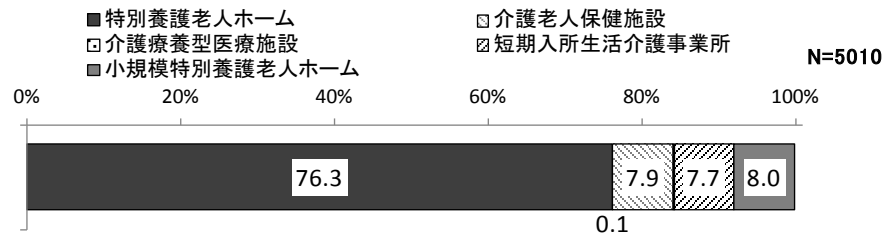
ユニットリーダー研修に職員が参加し、その後の対応の仕方を施設種別毎に分析した。

- ・研修報告はどの施設でも同様に8割以上で受けていた。
- ・受講後の感想としては、「同じ知識を得ようと思った」割合が介護老人保健施設以外で多く見られた。介護老人保健施設では、「管理者研修を受けようと思った」が多く、ユニットリーダー研修の受講が管理者研修の受講動機に結び付いていた。共に研修を受講することで、プラスの相乗効果を生んでいることが分かった。

2. ユニットリーダー研修

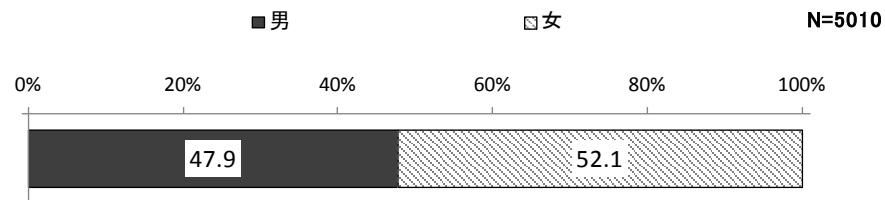
受講者像

<施設種別>



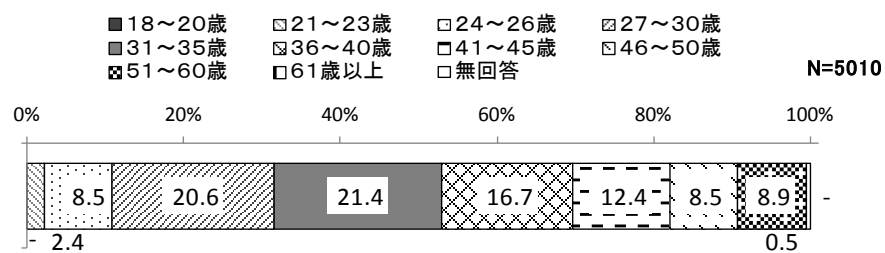
- ・平成15年度の研修開始当初は99%が特別養護老人ホームであったが、今年度は76.3%に減少し、小規模特別養護老人ホームの割合が増え、今年度は8%を占めた。また短期入所生活介護の割合も同様に増えている。特別養護老人ホーム以外の施設割合は、約4分の1になった。

<性別>



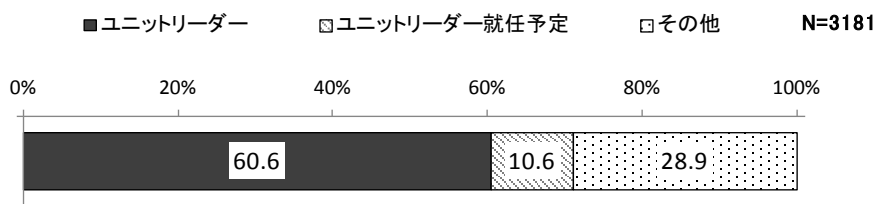
- ・男女比については、研修開始時の平成15年度は男性29%であったが、今年度は47.9%と年々男性の参加率が増えている。

<年齢>



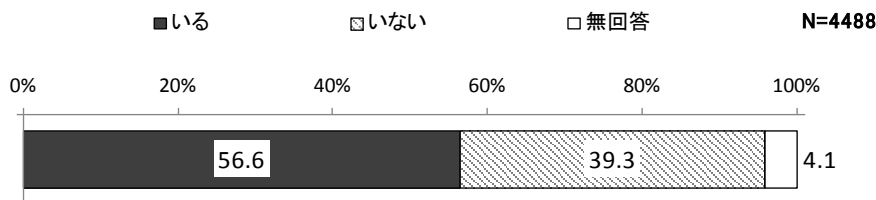
- ・27~40歳までの受講者が全体の6割をしめており、その内、31~35歳が一番多く27~30歳と続いている。24~26歳が8.5%、21~23歳も2.4%おりユニットリーダー層の若年化が進んできている。

<受講者の役職（ユニット開設済のみ）>



・ユニットリーダーとしての参加は6割で、就任予定は1割、未定の受講生は3割で、現在ユニットリーダーでない人の割合が多くなっている。未定の受講者の多くは、何も知らされていない人や現在従来型施設に勤務している人であり、研修での学びに目的が見いだせず戸惑っている受講生がみられる。

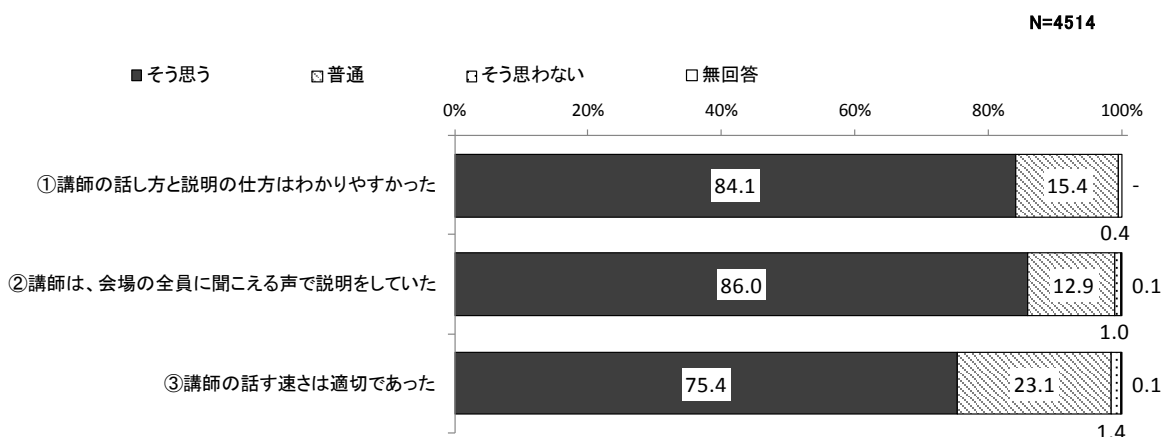
<ユニットケア施設管理者研修受講者の有無>



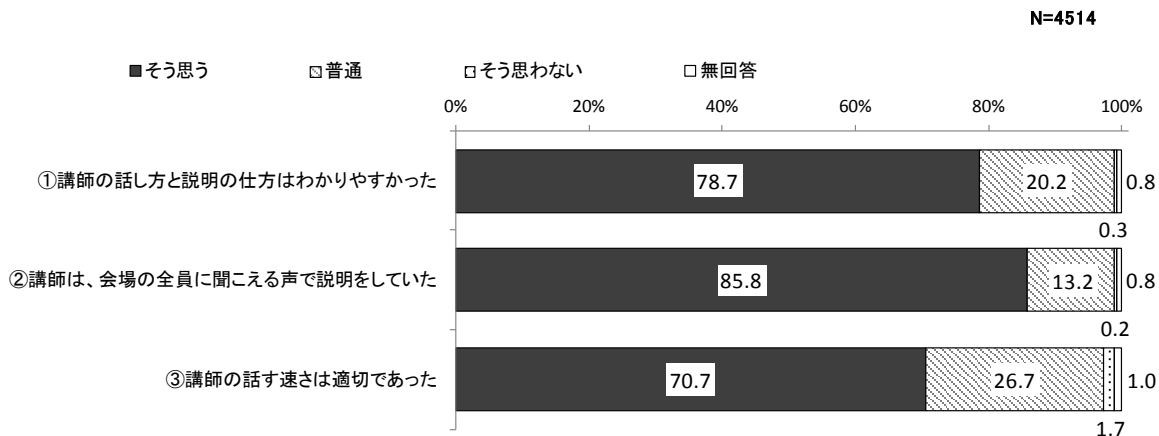
受講者評価

1日目の研修内容について評価してください。

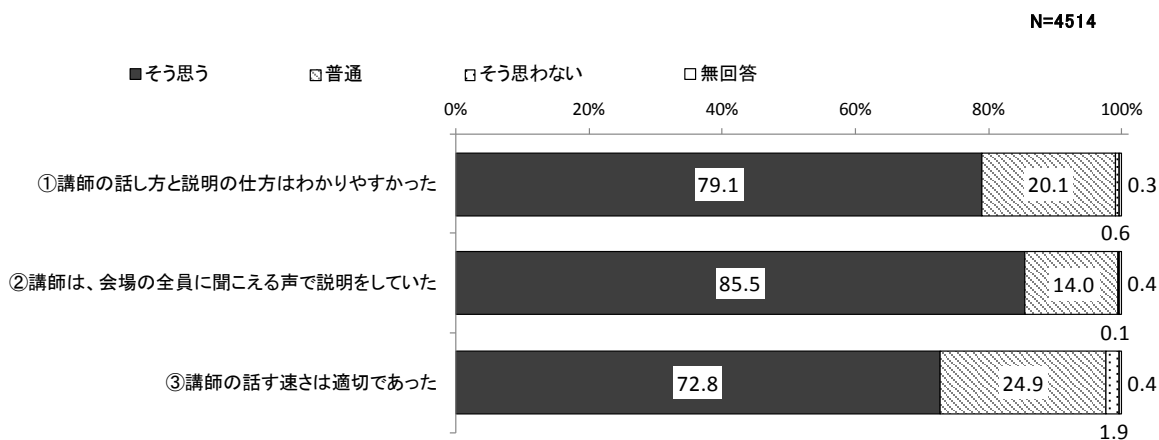
<ユニットケアの理念と意義の感想>



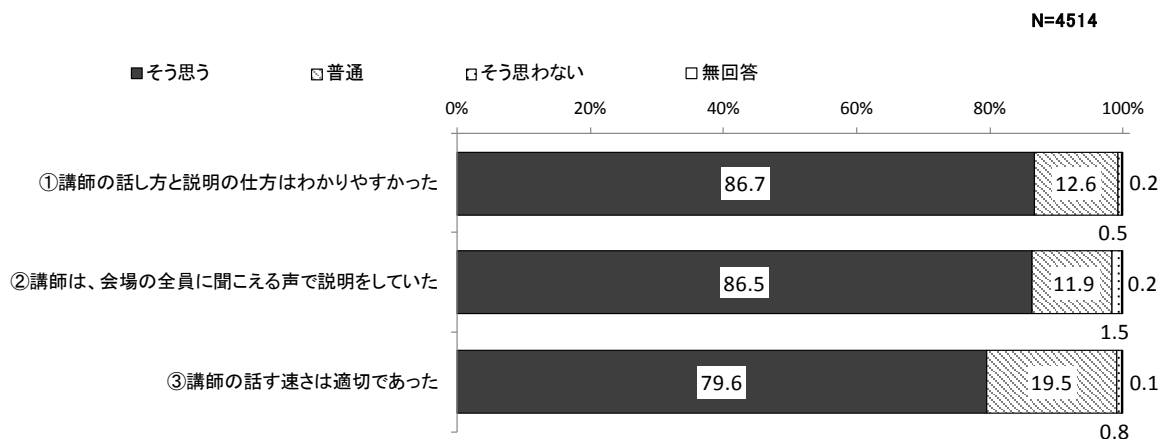
<施設導入の過程の感想（施設管理者）>



<施設導入の過程の感想（介護責任者）>



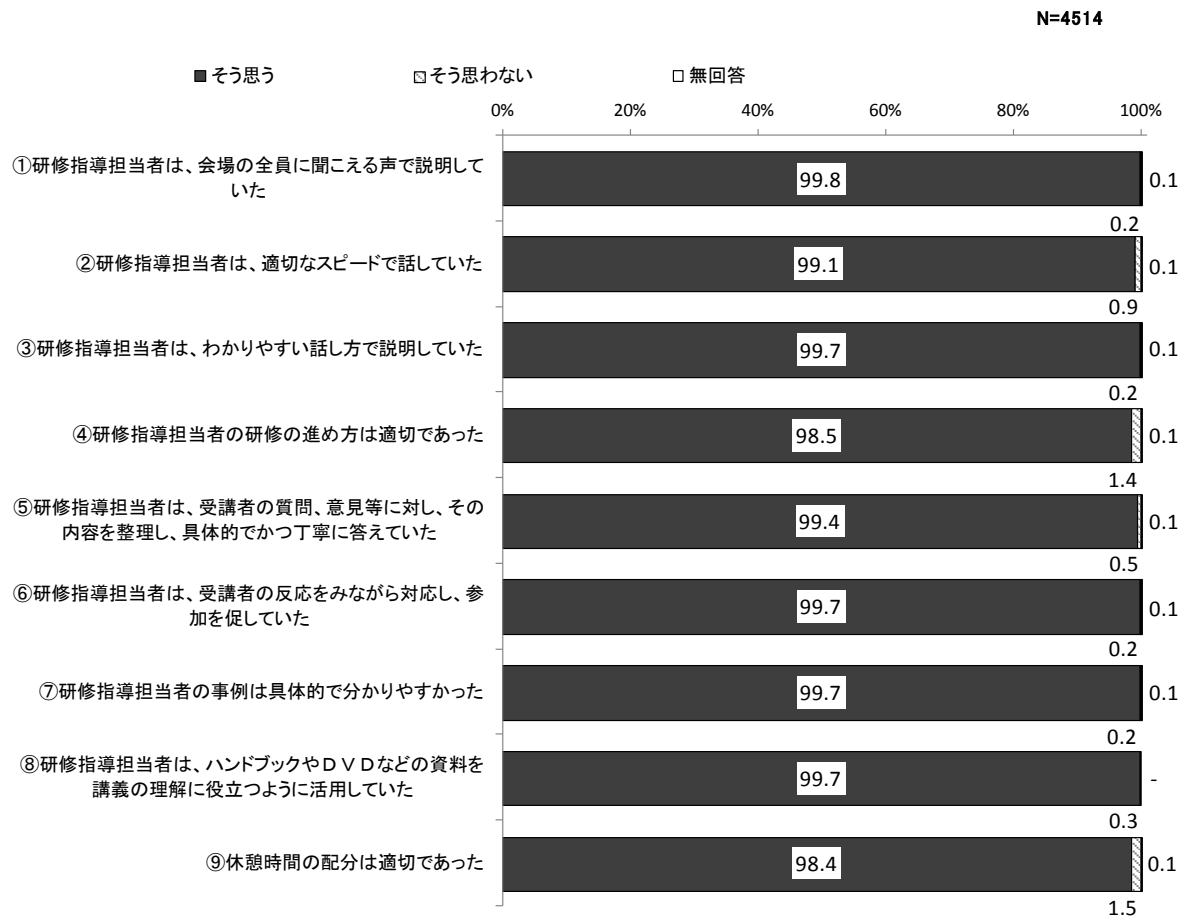
<高齢者の生活とその環境についての感想>



- ・1日目は全員が一堂に集まり、スクール形式で研修を行うため、「聞こえない」等の意見も多少あったが、全ての項目において概ね7割以上が「そう思う」と評価しており満足度は高かった。
- ・講師によっては、講義の進行で時間が足りなくなり早口になることがあり、話す速さについての満足度は他より低かった。

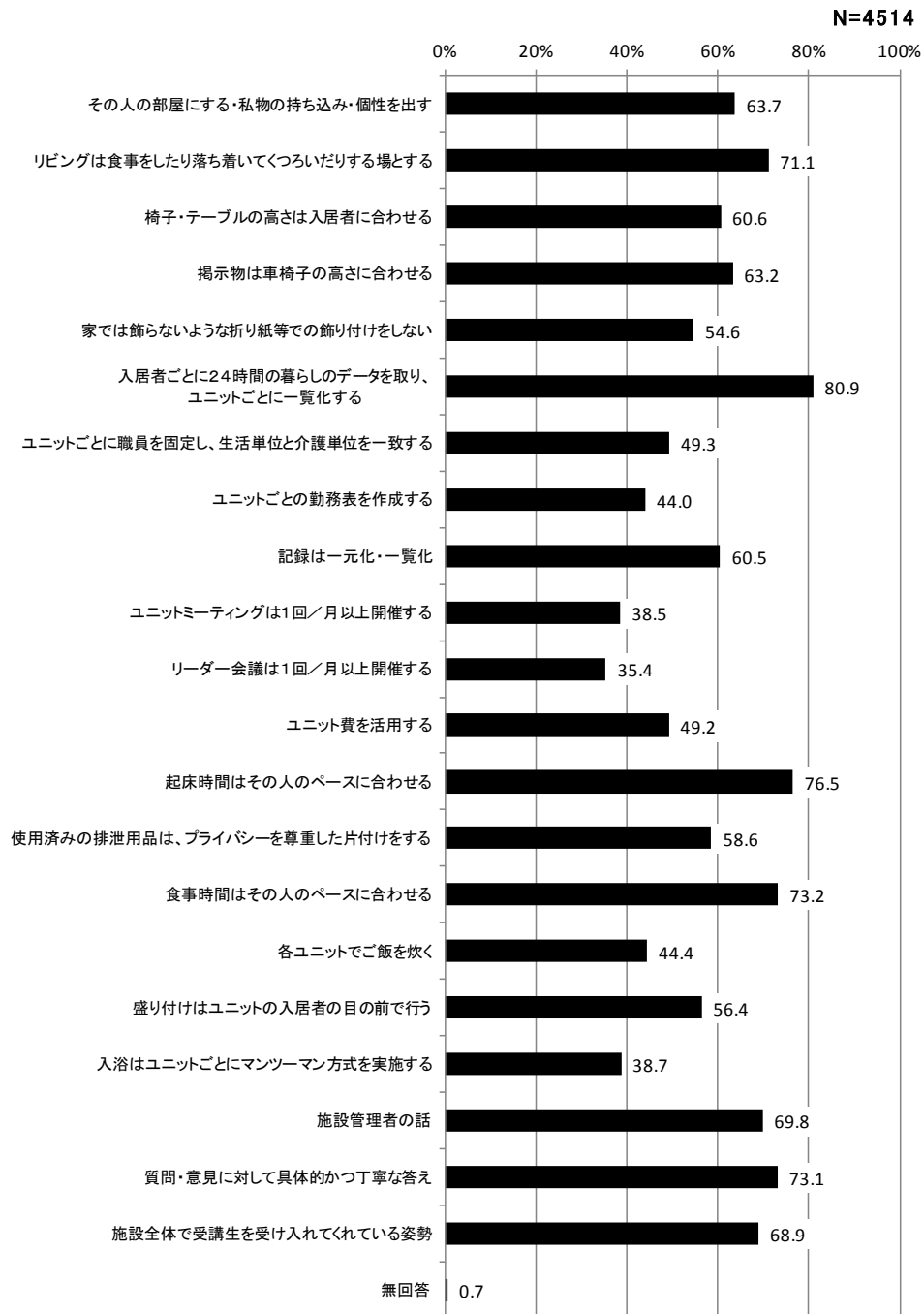
2日目の研修内容について評価してください。

< 2日目の研修についての評価 >



- ・ 2日目の研修については1日目の講義・演習より、「そう思う」と回答した人が多く9割を超え、グループワーク中心の少人数教室形式は、満足度の高い研修となった。

研修を振り返り、実地研修において実践するうえでどのようなことを参考にしたいと思いましたか。



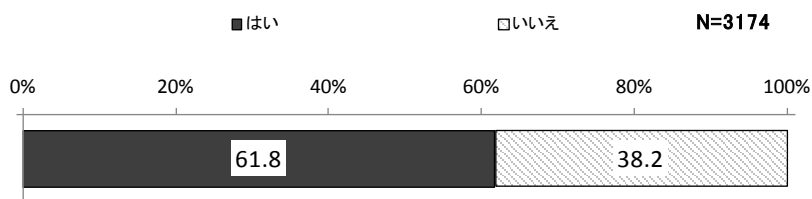
- ・実地研修に行って、参考になったところは、「入居者ごとに24時間の暮らしのデータを取り、ユニット毎に一覧化する」が80.9%で一番多く、次いで、「起床時間はその人のペースに合わせる」が76.5%と、それぞれの入居者の暮らしにあわせたケアの実践が参考になったといえる。この傾向は昨年と同様であり、受講生が何に悩み取り組んでいるかがわかる。

受講者施設の運営状況（事前課題分析結果）

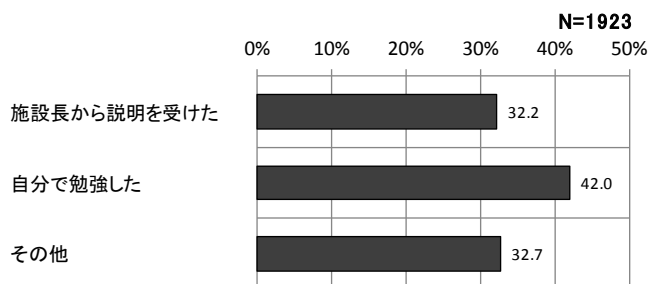
理念等について

ユニット型特別養護老人ホームの施設設備及び運営に関する基準第三十三条を知っていましたか。

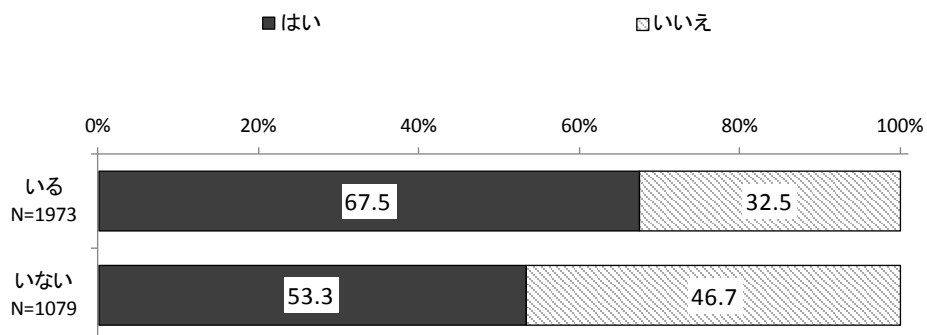
<ユニット型特別養護老人ホームの施設設備及び運営に関する基準第三十三条の認知度>



<勉強方法>



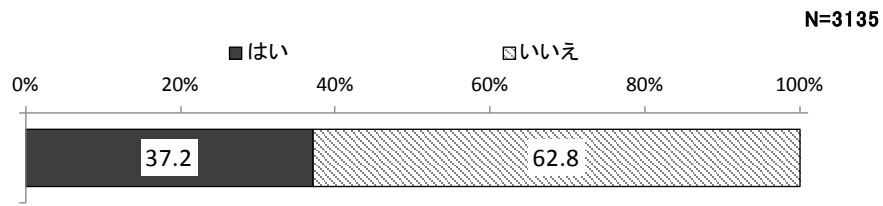
<管理者研修受講者の有無によるユニット型特別養護老人ホームの施設設備及び運営に関する基準第三十三条の認知度>



- ・第三十三条は、6割強の認識で前年度との差は見られない。しかし、管理者と比べると2割強少ない。管理者は職員に伝えているという結果が出ていたが、この集計からは、「施設長から説明を受けた」より、「自分で勉強した」人が多かった。管理者は伝えているつもりだが、伝わっていない現状を示している。また、管理者研修を受講した施設のユニットリーダーの方が第三十三条の認識は高く、管理者・ユニットリーダー研修共に受講することで、その効果が高まることがわかった。

ユニットリーダーの役割について明記（文章化）された書類で説明を受けましたか。

<ユニットリーダーの役割についての説明（ユニット開設済のみ）>



- ・ユニットリーダーの役割について6割を超える受講生が文章にて説明されていない。ユニットリーダーの担い手がないという声を研修でも多く聞くが、役割が明確になっていない中では、就任は困難と思える。